

東北講演会講演録

第27回

関西茶話会講演録

NU7

National University Seven

国立七大学の総合情報誌

2017.07 No.12

速報!!

第56回 七大学

七大学 入学式の情景

七大学・同窓会・会員著作物紹介  
学士会・学士会館ニュース

学士会

平成 29 年  
4/3 日



### 大阪大学

📍 大阪城ホール  
👤 6,352 名

平成 29 年  
4/5 水



### 東北大学

📍 カメイアリーナ仙台  
(仙台市体育館)  
👤 5,002 名



### 九州大学

📍 九州大学椎木講堂  
👤 5,131 名



### 名古屋大学

📍 名古屋大学豊田講堂  
👤 4,420 名

## ～七大学 入学式の情景～

平成 29 年  
4/7 金



### 北海道大学

📍 札幌コンベンション  
センター  
👤 4,817 名

### 京都大学

📍 京都市勧業館  
みやこめっせ  
👤 6,358 名



平成 29 年  
4/12 水



### 東京大学

📍 日本武道館  
👤 7,541 名



※ 入学者数は学部・  
院を含みます。



スキー



アイスホッケー

開会式は  
7月8日(土)

第56回  
七大戦、  
冬季・春季  
種目の  
結果速報!



3種目  
終了時点で、

航空



# トップは名古屋大学!!

3種目の詳細結果と、今後の競技日程は16・17頁をご覧ください。

夏といえばこれ!  
学士会館ビアホール、  
7月3日(月)~スタート

今年のビアホールは、ひと味違う!?  
お客様参加型イベント「盛り付けコンテスト」  
を開催予定です。  
詳細は、学士会館公式サイトをご覧ください。

35頁を今すぐ確認!!

ウェルカム  
ビアパーティーは  
Welcome Beer Party

7月29日(土)!!

新卒会員、無料招待

# NU7

National University Seven

国立七大学の総合情報誌

7 UNIV.

## 七大学 入学式の情景 速報!! 第56回七大学戦

01

2017.07 NO.12

7 LECTURE 東北講演会

### 我が死生観

03

山折哲雄 (宗教学者 / 国際日本文化研究センター名誉教授)

第27回 関西茶話会

### 言語の壁を越える音声言語コミュニケーション研究の現状と今後

09

中村哲 (奈良先端科学技術大学院大学教授)

7 UNIV.

### 七大学情報

16

七大学書籍ランキング 40

7 ALUMNI

### 同窓会案内・開催報告

25

7 MEMBERS

### 会員通信

30

会員著作物紹介  
『NU7』投稿原稿募集のご案内

7 NEWS

### 学生会・学生会館より 34

7 STAFFs

### 編集委員コラム 42

JOIN US!

### 学生会の紹介 表 4



表紙写真：西村公宏 会員 東北大・工博・平 18

# 東北講演会

開催日：2017年2月4日（土）

会場：東北大学片平キャンパス 片平さくらホール

## 我が死生観

宗教学者／国際日本文化研究センター名誉教授 やまおり てつお 山折 哲雄

### 橋田壽賀子さんのエッセイ

2016年11月下旬、『文藝春秋』（12月号）に、橋田壽賀子さんの「私は安楽死で逝きたい」という衝撃的なタイトルのエッセイが掲載されました。「私は現在、91歳。熱海で一人暮らし。夫は27年前に亡くなり、子供もいない。親戚付き合いもない。認知症になる前に安楽死で逝きたい。実際、ベッドで寝ているだけで生きる希望を失っている人は大勢いる。彼らが望むなら、日本でも安楽死を認めるべきだ。しかし、現実に安楽死を認めているのは、スイス、ベルギー、オランダ、ルクセンブルクなどの国々と、アメリカのカリフォルニア州やワシントン州などの6州のみ。このうち安楽死希望の外国人を受け入れているのは、スイスのある医療団体のみ。この団体を通じて年間約200名の外国人

がスイスで安楽死を遂げている」という内容です。

「いよいよ日本社会もここまで来たか」と思いました。私は30年以上前から安楽死や尊厳死の問題に関心を持ち、発言してきましたが、これまで日本では認められませんでした。そこに突然、人気脚本家による衝撃的なエッセイです。どんな反響が起こるのか、大変気になりました。

### 若い頃の不思議な体験

エッセイが出た翌月の12月13日、外出から戻った私は自宅の玄関で眩暈を起こして倒れました。主治医の先生にMRIを撮ってもらうと、「小脳に黒い影がある。腫瘍か梗塞の可能性もある。年明けに大病院で精密検査をした方がよい」と勧められました。とりあえず年内は自宅療養となったのでの俳句を捻ったりして過ごしました。紹介します。

眩暈して 脳か耳かと 冬の陣  
天地の 分かれし時ゆ 眩暈して

自宅療養中、若い頃の不思議な体験を思い出しました。胃潰瘍を再発して入院し、点滴で最低限の栄養を摂取しながら絶食療法を受けていた時のことです。1～3日目は「地獄の餓鬼の世界もかくや」と思えるほどの飢餓感に襲われました。それが、4～5日目になると飢餓感がずっと引き、6日目には「細胞全てが入れ替わったのか」と思うほど清澄感が体中に漲り、五感が研ぎ澄まされ、快適な気持ちになりました。肉体は飢

餓で死に近づいているのに、精神は活性化していたのです。「生命の逆転現象とはこういうものか」と思いました。7～8日目に副食が始まりましたが、この時には「もう少し絶食期間が長ければいいのに」という願望すら抱いていました。

### 高僧たちは断食往生していた

この時の入院は4カ月続いたので、退院までずっと、この体験を考え続けました。その時に思い出したのが、学生時代、平安・鎌倉期の高僧伝を研究していた時に発見した、ある事実です。

比叡山や高野山で修行した高僧たちの多くは、死期を悟ると、五穀断ち、十穀断ちという精進を行い、その後完全断食に入り、やがて水も睡眠も断ち、静かに息を引き取っていました。当時の私は「断食とは、前近代のアジアの仏教圏で行われていた生命を活性化させる方法ではないか」と思ったのです。

実はお釈迦様も悟りの直前に何回も断食をしています。イエス・キリストも苦難に遭った時、荒野を40日間、飲まず食わずで彷徨っています。二大宗教においても、断食（食のコントロール）がなされていたのです。

この時以来、「死期を悟ったら、断食するとよい。この知恵を現代



に生かしたい」と考えるようになりました。ただ、「どの段階で決意するか」が問題でした。普通の人がこれを実行しようとする、家族による看取りなど、終末期医療に関する様々な問題を引き起こすからです。

記録を読むと、高僧たちは断食を決意する際、自分の余命について正確な認識を得ていたようです。もっとも、エッセイなどで私がこの話を紹介すると、必ず「死期を悟るなんて無理」という反論が寄せられ、医学界からは無視され続けました。

ところが、ここ10年程、医師の間にも終末期医療への関心が高まり、「終末期の癌患者は少しずつ食を減らし、最後は断食し、自然死を迎えるのがよい」と考える医師が増えました。ただし、この問題は尊厳死、安楽死とも繋がってくるので、簡単ではありません。そんなことをあれこれ考えていた時に出会ったのが西行でした。

### 西行が断食往生を遂げた可能性

西行は12世紀に活躍した武士・僧侶・歌人で、新古今和歌集に最も多くの和歌が採用されています。彼の有名な和歌に、「ねかはくは 花のしたにて春しなん そのきさらぎのもちつきのころ」があります。西行はこの和歌で願った通り、陰暦2月16日に亡くなりました。

私はこのことを知った時、「西行

は日頃から食のコントロールを心掛け、余命あと数週間という時、断食を始め、断食往生を遂げたのではないか」と気づきました。

私が西行学会でこの話をすると、以前は耳を傾けてくれる人はいなかったのですが、最近では聞いてくれる人が増えてきました。

### 私が安楽死を認める条件と方法

自宅療養中、文藝春秋から、「橋田壽賀子氏のエッセイが大反響を呼んでいる。ついてはアンケートをしたいので、次の設問に答えて欲しい」という依頼がきました<sup>1</sup>。

設問は、「自分が最後を迎える時、延命治療を受け入れるか」「安楽死を認めるか」というもので、①延命治療を受け入れる、②延命治療を拒否する、③安楽死を認める、の三択から選ぶようになっていました。

私は安楽死を認める立場ですから、③を選択しました。ただし、「薬物による安楽死はだめ。断食による安楽死のみ認める」という条件付です。

実は私にはもう一つ、「認知症になった場合の安楽死も認める」という条件もあります。

昔の私は「癌で死ぬより、認知症で死ぬ方がよい。癌患者の治療中の痛みや苦しみには耐えられそうもないが、認知症なら恍惚の人になるだけだから」と考えていました。しかし、今日のように認知症患者が増大

し、家族の介護の負担などが社会問題化してくると、そう簡単ではないことが分かります。

では、私が条件にしたように、「認知症になった場合、断食という方法に限り、安楽死を認める」とした場合、いつその決断をすればよいでしょうか。この問いは今後の日本人の死生観に極めて重要です。

ここで再び私の病気の話に戻ります。新年早々、私は大病院で検査を受け、突発性心房細動と診断されました。以前から心臓の雑音を指摘され、経過観察となっていたのですが、これを機に手術することになり、1月末、無事、名手・全栄和先生の手で手術は成功しました。

年末年始に自宅療養していた時は、「もう寿命は尽きたか」と少々投げやりな気持でしたが、手術が成功し、術後の経過も良好となると、欲が出てきました。

## 天の声が聞こえる

私は70歳を超えた頃から、ときどき、「お前、今死ぬるか」という天の声が聞こえるようになりました。大抵の場合、「駄目だよ」と言って追い返すのですが、天気の良い日に鴨川沿いを散歩するような時、この声が聞こえると追い返せない時がありました。そんな時は遠くに東山や北山が見え、小鳥の声が聞こえ、「このままずっと山の中に入って

いって、山中に消えてもいいな。今ならいいや」という気分になっていたのです。ちなみに今日、京都から仙台に飛行機に乗って来るまでの間にも、この声が聞こえたので、「講演が終わるまでは死ぬない」と追い返しました。

この天の声が聞こえるようになってから、私は毎日の生活に三原則を課すようになりました。「頂いた命を大事にするために食べ過ぎない、飲み過ぎない、人に会い過ぎない」というものです。また、80歳を過ぎてからは歯が悪くなったので、食事ではよく噛むようになりました。

## 「九相図」に描かれた死生観

自宅療養中、私がよく眺めたものに、「九相図」があります。日本の中世の仏教絵画で、屋外に捨てられた死体が朽ち果てていく過程が九段階に分けて描かれています。中央アジアや中国にも数多くの九相図がありますが、中国大陸は乾燥しているため、描き方が非常にシンプルです。これに対して、日本の九相図は、湿润風土のためか美女の遺体が腐乱し、蛆が湧き、白骨になるまでの過程が実にリアルに描かれています。

九相図を眺めるうち、私はあることに気づきました。白骨化した骨はやがて粉々になり、土に返り、土壤の中で分解され、新しい命として再生します。そう考えた時、私は「九



相図の彼方に新しい生命の誕生がある。避けがたい死の先に希望があるかもしれない」と気づき、生きる重荷が取り除かれたような軽さを感じました。

何故、今までの仏教界はこの命の連鎖を指摘してこなかったのでしょうか。画家はそのことを九相図に描きこまなかったのでしょうか。

### 榊莫山先生の書く「土」

10年ほど前、書家の榊莫山先生とお話する機会がありました。先生が亡くなる2~3年前のことでした。その時、先生は次のように話されたのです。

「今、毎日のように“土”という字を書いている。書きながらあることに気づいた。これまで日本人が書

いてきた“土”は、土の本質を捉えていない書き方だったのではないか」。

驚いた私が理由を問うと、「“土”を書く時、我々は普通、横、縦、横という書き順で書く。しかし、土とは全てを生み出す源だ。土のエネルギーは下から上に突き抜けていく。だから本当は、横二本を先に書き、最後に下からぐっと縦一本を書くのが正しいと思う」。

私は大変感銘を受け、帰宅後早速自分で書いてみましたが、簡単ではありません。「一度、莫山先生が“土”をお書きになるところを拝見したい」と思っているうち、先生は亡くなってしまいました。今、柳生伊賀にある莫山先生の生家に行くと、たくさんの“土”の書を見ることが



できるはずですが、私はまだその機会を得ることが出来ないでいます。

皆さんは死を思う時、天国、浄土、極楽といった観念的なレベルの話聞いて、本当に心の平安を得られますか。私が安らぎを得るのは、先祖の多くが言っていたように「最後は土に戻る」という発想です。死後人間のからだは、腐乱し、白骨化し、

土に返って、新しい命に再生していく、転生していく。これが日本人の輪廻の本来の考え方もかもしれません。

この難しい時代にどう生き抜いていくか、その戦略を考えることが、私の残された人生の楽しみです。

- 
- i この時の調査結果は、『文藝春秋』2月号（2017年）で公表されている。



## PROFILE



1954年東北大学文学部印度哲学科卒業。1959年東北大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学。駒澤大学文学部助教授、東北大学文学部助教授、国際日本文化研究センター教授を経て、1997年国際日本文化研究センター名誉教授、同年白鳳女子短期大学学長。2000年京都造形芸術大学大学院院長。2001年国際日本文化研究センター所長、2005年に同所長を退任し、現在に至る。

2001年京都新聞大賞文化学術賞、2002年和辻哲郎文化賞、2003年第54回NHK放送文化賞、2010年第20回南方熊楠賞・瑞宝中綬章、など受賞歴多数。

# 言語の壁を超える音声言語コミュニケーション研究の現状と今後

なかむら さとし  
中村 哲

奈良先端科学技術大学院大学教授



## ● PROFILE ●

1981年京都工芸繊維大学工学部電子工学科卒業。1981年シャープ(株)中央研究所、情報技術研究所。1986年～1989年(株)ATR自動翻訳電話研究所出向。1992年京都大学博士(工学)。1994年～2000年奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科助教授。2000年(株)国際電気通信基礎技術研究所 音声言語コミュニケーション研究所第一研究室長。2005年所長、取締役。2006年(独)情報通信研究機構兼務。けいはんな研究所音声言語グループリーダー、上席研究員、MASTARプロジェクトリーダー、知識創成コミュニケーション研究センター長、けいはんな研究所長などを経て、現在に至る。IEEEフェロー、ATRフェロー。ドイツカールスルーエ大学客員教授。

## 1. 音声翻訳技術とその歴史

音声翻訳とは、話者の話を音声認識し、他の言語に機械翻訳し、それを音声合成で読み上げる技術です。

よく、「この技術が確立したら、もう外国語の勉強はしなくていいのですか」と尋ねられますが、各人が外国語を流暢に話せるに越したことはありません。この技術はあくまでそれをサポートするものです。

音声翻訳の研究は日本で始まり、

日本が世界をリードしてきました。1986年、けいはんな学研都市に設立された(株)国際電気通信基礎技術研究所(ATR)が、世界初の音声翻訳の研究所です。私は設立時からATRに参加していました。当初は、音声認識も機械翻訳も音声合成も非常に低いレベルでした。それらを組み合わせて音声翻訳として使えるレベルにすることは、夢の夢でし

た。

プロジェクト第一期（～1992）は、国際会議の申し込みのように決まった会話のやりとりを、文法的に正しい表現で、文節ごとに区切って明瞭に発声した時、音声翻訳できることを目標にしました。

プロジェクト第二期（～2000）は、ホテルの予約のように限定された日常会話を、明瞭に発声した時に、音声翻訳できることを目標にしました。

プロジェクト第三期（～2006）は、日常旅行会話のように広い話題を、雑音を含む環境で発声しても、音声翻訳できることを目指しました。

これら国内プロジェクトと並行し、1993年からは日韓仏米独伊などの国々と共同研究で、国際翻訳電話の実験を始めました。

こうした努力の結果、2007年、

携帯に話しかけると外国語に訳してくれる世界初の音声翻訳サービスが有料で始まり、2010年には同サービスがスマートフォンアプリ“Voice Tra”<sup>i</sup>によって無料で始まりました。

### 技術的なブレイクスルー

80年代前半までは、例えば日本語とベトナム語の音声翻訳をする場合、両言語に精通する人が必要でした。その人が辞書と文法構造から翻訳ルールを作り、それに基づいて機械翻訳をしていました。

しかし、1990年頃より統計翻訳の手法が導入され、技術上のブレイクスルーが起きました。上の例でいうと、同じ意味を持つ日本語とベトナム語の文（対訳コーパス）を大量にコンピュータ処理し、単語の対応や文法を学習させ、自動翻訳できる



ようになったのです。

図をご覧ください。「窓をあけてもいいですか」という日本語に対し、10通りの英語表現があります。この時、コンピュータは事前に大量の英文処理をし、「各表現がどういう形に翻訳されるか」を学習し、その統計に基づいて、最適な表現を自動的に選択します。


このコーパス・ベースの翻訳が画期的なのは、ベトナム語と日本語の両方を知る人がいなくても、両言語の文を大量に集めれば、機械が自動学習し、精度が上がる点です。

ただし、音声翻訳にはテキスト翻訳とは違う困難があります。意味が

文脈に依存すること、時に文法的に不正確なこと、「 」や句読点がないこと、音声認識の誤りが入ること、瞬時に翻訳しなければいけないことなどです。

### 音声翻訳のメカニズム

話者が「私は学校に行く」と日本語で話したとします。その声はマイクで受音され、「wa ta shi wa ga xtu koo ni i ku」という日本語の発音列に変換されます<sup>ii</sup>。この音の連なりは、大量の日本語文処理から得た日本語の辞書・文法・単語の使用頻度などの統計データに基づき、「私は学校に行く」というかな



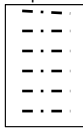
## パラレルコーパス

**Japanese:**  
“窓をあけてもいいですか”


**English:**

1. may i open the window
2. ok if i open the window
3. can i open the window
4. could we crack the window
5. is it okay if i open the window
6. would you mind if i opened the window
7. is it okay to open the window
8. do you mind if i open the window
9. would it be all right to open the window
10. i'd like to open the window


Japanese




English




Chinese



Korean



New lang.



2/16/2017

2017 0218 Satoshi Nakamura@NAIST in 学生会 講演

12



漢字列に変換されます。

こうして日本文が判明すると、まず、「I to school go」と日本文の語順のまま訳されます。次に、予め大量の英語文から得ていた統計データに基づき、最もありそうな英語の語順、「I go to school」に並べ替えられます。最後に、英語の文として相応しいか、チェックされます。この3つの処理は実際には同時に行われます。そして、英文が完成すると、合成音声で英文が発音されます。

私どもは日常会話や旅行会話について日英で100万文、日中で50万文の例文を収集し、日英版の音声翻訳システムを作成しました。続いて日中版も作成しました。この過程でコンピュータが自動的に学習し、英中版も作成しました。仕組みが統一されていると、自動的に翻訳できる点が面白いところです。

### 音声翻訳システムの性能の評価

まず、①旅行会話の基本表現コーパス、②口語化したコーパス、③最も口語化したコーパス<sup>iii</sup>という3つのデータベース（日英）を用意し、これらから日本語の例文を選び、TOEICスコアが1~100点まで1点ずつ異なる人を計100人集め、英語に訳してもらいました。すると、1文あたり100通りの異なる英訳ができたので、それらと機械が音声翻訳した文を比較し、機械が

TOEICの何点に相当するかを調べました。すると、①では900点程度、②と③では600点程度でした。

2007年2月には、英国人と中国人にこの機械を持って京都に旅行に行ってもらい、「機械がどの程度使えたか」について調べてみました。

すると、「相手が理解したと思うか」については「ほぼ全部」と「半分位」を合わせると90%を超えました。一方、「相手の言うことが理解できたか」については「ほぼ全部」と「半分位」を合わせると90~100%でした。音声翻訳システムは旅行会話や日常会話レベルでは十分使えることが立証されました。

### 音声翻訳システムの世界標準化

2006年、私ども音声翻訳の研究グループは、ATRだけでなく、(独)情報通信研究機構(NICT)にも研究の場を広げ、アジア9カ国の研究機関と、「アジア共通の音声翻訳システムを採用し、自国語のモジュールを作成し、ネットワークで接続しよう」という共同研究を始めました。

その後、「この音声翻訳システムを世界標準化し、アジアだけでなく世界をネットワークで接続しよう」と願うようになりました。2010年、願いが叶い、我々の推奨する音声翻訳システムがスイスの国際電気通信連合(国連の下部組織)にて国際標

準として承認されました。現在、「世界 21 カ国、23 言語で音声翻訳ネットワークを作ろう」という共同研究が始まっています。

i 21 言語対応、6 言語の音声入出力が可

能。

- ii 同じ音でも人や地域によって発音が異なる。多額の資金をかけ、日本の主要都市で 4 千人分の音声データを集めている。
- iii 関西国際空港で採取したデータ

## 2. 同時通訳技術

私は 2011 年に大学（奈良先端科学技術大学院大学）に戻り、同時自動通訳の研究を始めました。

前述の通り、現在の音声翻訳システムは、旅行会話や日常会話には十分対応できますが、国際会議のように何人もの話者が同時に話す状況での音声翻訳や、講演のように長い発話の音声翻訳はできません。

ここでも発想の転換がありました。従来の同時自動通訳では、文末まで聞いてから翻訳しようとしていました。日本語は英語と違って文末まで聞かないと、肯定、否定、疑問か分からないからです。しかし、同時通訳者は文末を待たずに発話途中から翻訳を始めています。そこで、私どもも発話の途中で適切なタイミングを見つけて同時翻訳を行うことを目指しました。

まず、長い一文を「フレーズ」と呼ばれる単語列で区切ることにし、どこで区切るかを大量の例文から統計的に割り出しました。

次に、「あるフレーズと後続のフ

レーズの順番が、他言語に訳してもひっくり返らない確率」を統計的に割り出しました。

どういうことかという、①「背の高い男」を訳す時、「背の高い」と「男」の順番は変わりませんし、②「私は太郎を訪問した」を訳す時も、「私は」と「太郎を」の順番は、“visited” が間に入りますが、変わりません。

しかし、③「太郎を訪問した」を訳す時、「太郎を」と「訪問した」の順番はひっくり返りますし、④



「背の高い男を訪問した」を訳す時も、「男を」と「訪問した」の順番はひっくり返ります。

私どもは、この「フレーズの語順が入れ替わらない確率」の大小で翻訳開始のタイミングを決めました。

具体例で説明します。“Hello, where is the station?”を音声翻訳する時、冒頭の「hello」は単独でフレーズになるので、訳出せず一旦保留し、もう一つ先の単語「where」まで繋げてみます。すると「hello where」はフレーズにならないので、フレーズの区切りが確定し、「hello」を訳出します。

次に「where」と次の単語「is」を繋げてみると、「where is」はフレーズになるので、訳出せず一旦保留し、もう一つ先の単語「the」まで繋げてみます。すると、「where is the」ではフレーズにならないので、フレーズの区切りが確定し、「where is」を訳出します。最後の「the station」でフレーズになるのでこれを訳出して終わりです。

ただ、このままでは「こんにちははどこですか 駅」と訳されてしまい、日本語として不正確です。

ここで大きな役割を果たすのが「語順が入れ替わらない確率」です。「hello」の場合、後続のフレーズと語順が入れ替わらない確率は、統計データより0.9と大きいので、「hello」で区切って、そのまま訳出

しても大丈夫そうです。

しかし、「where is」の場合、翻訳後に後続のフレーズと語順が入れ替わらない確率は0.6と低いので、訳出せず、次の「the station」を待ってから訳出するのです。

私どもは、まだ発語されていない文の構造を予測することにも挑戦しています。例えば、「in the next 18 minutes I」の場合、文の構造から「次に動詞句が来る」と予測できるので、翻訳のタイミングをより賢く判断できます。現在、この精度をあげているところです。

### 同時自動通訳の評価

ここで日英、英日の旅行会話と英仏のニュース文の同時自動通訳の精度を評価してみます。

旅行会話の同時通訳では、英日の方が日英より高精度でした。また、長文の旅行会話を日英通訳する場合には、訳出のタイミングを短く区切ることで、比較的少ない性能劣化で同時通訳ができました。

一方、ニュース文の同時通訳（仏英）は旅行会話よりも難しいので、精度は非常に低いのですが、訳出のタイミングを短く区切っても、精度は変わりませんでした。英語とフランス語の文法構造が似ているからでしょう。ここから分かるのは、「日本語と英語は文法が異なるため、同時通訳は苦勞する」ということです。



もう一つの評価法として、英語の講演番組「TED」の同時自動通訳を行い、上級通訳（15年以上）、中

級通訳（4年以上）、初級通訳（1年以上）と比較したところ、初級通訳と同等であることが分かりました。

### 3. 課題と今後の展開

講演のような長い発話の音声翻訳や、国際会議のように多人数が参加する同時通訳が大きな課題です。

私たちが会話する時、間の取り方、強調、ジェスチャー、表情、相槌、視線などの非言語（パラ言語）でも気持を表現しているので、音声翻訳システムにそれらを採用入れることも課題です。

外国映画の日本語吹替版のように画像付の音声翻訳において、画面に現れる外国人の唇の動きを日本語に合わせようという研究もあります。

また、日本語には「結構です」のように、文脈次第で「Yes」にも

「No」にも取れる表現があります。老夫婦の「あれはどこに置いた？」という会話のように、状況を考慮しないと意味が分からない表現もあります。これらをどうやって機械に覚えさせるかも課題です。

総務省は2020年の東京オリンピックまでに多言語音声翻訳システムの実現を目指し、「グローバルコミュニケーション計画」を立ち上げ、様々な音声翻訳の研究に資金援助し始めました。我々も2020年を一つの区切りに、「自動音声翻訳システムによる言語の壁の克服」を目指しています。



## 第56回 七大学戦、いよいよ開幕!

第56回全国七大学総合体育大会（七大学戦）の開会式が、7月8日（土）に主管校名古屋大学豊田講堂にて開催されます。

既に競技を終えている冬季・春季種目の結果と、今後の競技日程は以下の通りです。前回優勝校東京大学の連覇か、それとも名古屋大学が主管校の意地をみせるか？ 最新情報は、七大学戦公式サイト (<http://www.7-univ.jp/>) をご覧ください。

(2017/6/9 現在)

競技名	北海道大学	東北大学	東京大学	名古屋大学	京都大学	大阪大学	九州大学
アイスホッケー	<b>1位</b>	6位	2位	3位	4位	5位	7位
スキー	不参加	<b>1位</b>	2位	3位	6位	4位	5位
航空	3位	5位	7位	<b>1位</b>	2位	4位	6位
競技名	競技日程		競技会場				
バスケットボール	男子	6/26(月)~7/1(土)	千種スポーツセンター (6/26~27)、東スポーツセンター (6/28~30)、名古屋大学第一体育館 (7/1)				
	女子						
硬式テニス	男子	6/30(金)~7/2(日)、3(月) ※3は予備日	岐阜メモリアルセンター				
	女子						
少林寺拳法	7/1(土)~2(日)		名古屋大学第一・第三・第四体育館				
柔道	7/7(金)~9(日)		愛知県武道館第一競技場				
空手道	男子	7/8(土)~9(日)	名古屋大学第一体育館				
	女子						
競泳	男子	7/15(土)~16(日)	アクアリーナ豊橋				
	女子						

競技名		競技日程	競技会場
ラクロス	男子	9/1(金)～3(日)	名古屋大学山の上グラウンド
	女子	7/15(土)～17(月)	
ヨット		7/15(土)～17(月)	福岡市ヨットハーバー
剣道	男子	7/16(日)～17(月)	名古屋大学第一体育館 (16)、愛知県武道館 (17)
	女子		
陸上競技	男子	7/29(土)～30(日)	知多運動公園陸上競技場 (29)、パロマ瑞穂北陸上競技場 (30)
	女子		
準硬式野球		8/8(火)～ 11(金)、12(土) ※12は予備日	名古屋大学野球場
バドミントン	男子	8/9(水)～15(火)	中村スポーツセンター (9～10)、名古屋大学 (11)、守山スポーツセンター (12～15)
	女子		
硬式野球		8/10(木)～12(土)	刈谷球場 (10)、パロマ瑞穂スポーツパーク (11～12)
馬術		8/12(土)～13(日)	名古屋大学東郷フィールド馬場
応援団		8/12(土)～13(日)	名古屋大学豊田講堂
バレーボール	男子	8/13(日)～17(木)	露橋スポーツセンター (13～15)、北スポーツセンター (16～17)
	女子		
ハンドボール		8/13(日)～19(土)	東スポーツセンター (13、15～18)、中スポーツセンター (14)、ブラザー体育館 (19)
水球		8/19(土)～20(日)	口論議運動公園
フェンシング		8/18(金)～19(土)	京都大学総合体育館サブフロア
相撲		8/20(日)	パロマ瑞穂スポーツパーク
弓道	男子	8/24(木)～28(月)	名古屋大学弓道場
	女子		
ソフトテニス	男子	8/28(月)～9/1(金)	パロマ瑞穂スポーツパーク
	女子		
アーチェリー		8/31(木)～9/3(日)	愛知学院大学
ソフトボール		9/5(火)～7(木)	口論議運動公園 (5、7)、日進市総合運動公園 (6)
自動車		9/11(日)～12(火)、 14(木)	名古屋大学南部食堂 (開会式、11)、キョウセイドライバースタンド (ジムカーナ、12)、オートパーク今庄 (ダート、14)
体操		9/14(木)～16(土)	三重県営サンアリーナ
卓球	男子	9/18(月)～22(金)	名古屋大学体育館 (18)、天白スポーツセンター (19、20)、千種スポーツセンター (21)、名東スポーツセンター (22)
	女子		
ゴルフ		未定	未定

## 七大学共通

### ◎大学基金窓口一覧

北大フロンティア基金

<http://www.hokudai.ac.jp/fund/>

東北大学基金

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kikin/japanese/index.html>

東京大学基金

<http://utf.u-tokyo.ac.jp/>

名古屋大学基金

<http://www.nagoya-u.ac.jp/extra/kikin/>

京都大学基金

<http://www.kikin.kyoto-u.ac.jp/>

大阪大学未来基金

<https://www.miraikikin.osaka-u.ac.jp/>

九州大学基金

<https://kikin.kyushu-u.ac.jp/>

## 北海道大学

### 総告知

#### ◎緑のピアガーデン 2017

ピアガーデンが本年も開催される予定です。

昨年の様子

<https://www.hokudai.ac.jp/pr/events/beer/>

### 総報告

#### ◎北海道大学の運営組織について

<http://www.hokudai.ac.jp/introduction/gov/>

名和豊春新総長就任に際し、運営組織が変更になりました。

## 東北大学

### 総告知

#### ◎東北大学科学シンポジウム「ニュートリノ研究に夢をのせて」 ノーベル物理学賞受賞者・梶田隆章先生をお招きして

<http://www.tfc.tohoku.ac.jp/nobel/kajita/>

日時 8月19日(土) 13:00~16:30

会場 仙台勝山館4階「彩雲」

対象 高校生、大学生、一般

定員 700名

参加費 無料

講師1 梶田隆章 東京大学宇宙線研究所長  
(2015年ノーベル物理学賞受賞)

演題 「神岡での研究の30年」

講師2 中家剛 京都大学理学研究科教授

演題 「神岡に向けてニュートリノビーム  
発射」

講師3 井上邦雄 東北大学ニュートリノ科学  
研究センター長

演題 「ニュートリノで解き明かす宇宙の謎」  
高校生とのトークセッション  
「科学研究の夢」

ファシリテーター 渡辺寛子 東北大学ニュート  
リノ科学研究センター助教

※詳細は左記 URL をご覧ください。

#### ◎東北大学進学説明会・相談会

[http://www.tnc.tohoku.ac.jp/singaku\\_setsumei.php](http://www.tnc.tohoku.ac.jp/singaku_setsumei.php)

東京会場

日時 7月15日(土) 12:30~16:50

会場 学術総合センター1階及び2階

大阪会場

日時 7月22日(土) 12:30~16:50

会場 グランフロント大阪タワー C 8階  
カンファレンスルーム

※両会場とも当日参加も歓迎いたします。  
参加費は無料です。

## ◎サイエンスカフェ・リベラルアーツサロン

<http://cafe.tohoku.ac.jp/>

### サイエンスカフェ

日時 7月19日(水) 18:00~19:45

会場 せんだいメディアテーク

講師 荻島創一東北大学東北メディカル・メガバンク機構准教授

演題 「あなたのデータで医療を変える」

日時 8月25日(金) 18:00~19:45

会場 せんだいメディアテーク

講師 田中秀治東北大学大学院工学研究科教授

演題 「スマホのシェイクを感じる小さなセンサ、次は社会を大きく変える～MEMSとIoTのお話し～」

日時 9月29日(金) 18:00~19:45

会場 せんだいメディアテーク

講師 秋山正幸東北大学大学院理学研究科准教授

演題 「超巨大ブラックホールの謎」

### リベラルアーツサロン

日時 7月28日(金) 18:00~19:45

会場 せんだいメディアテーク

講師 野口和人東北大学大学院教育学研

究科教授

演題 「インクルーシブ社会の実現を目指して～発達障害の理解～」

## 啓報

### ◎平成29年度全国発明表彰「21世紀発明奨励賞」「21世紀発明貢献賞」を受賞

[http://koueki.jiii.or.jp/hyosho/top/hyosho\\_top.html](http://koueki.jiii.or.jp/hyosho/top/hyosho_top.html)

「平成29年度全国発明表彰全国発明表彰式」は、6月12日(月)に執り行われました。

#### 21世紀発明奨励賞

ボディーチャンネル型 MOSFET による3次元集積化メモリー高度化の発明(特許5737525号)

受賞者 遠藤哲郎東北大学国際集積エレクトロニクス研究開発センター長・大学院工学研究科教授

徐文植元東北大学大学院工学研究科博士後期課程

#### 21世紀発明貢献賞

受賞者 里見進東北大学総長

## 東京大学

### 啓告知

#### ◎高校生のための金曜特別講座

<http://high-school.c.u-tokyo.ac.jp/>

##### 1. 生誕150年に読み直す夏目漱石

講師 小森陽一東京大学大学院総合文化研究科教授

日時 7月7日(金) 17:30~

会場 東京大学教養学部18号館ホール

##### 2. 人間、一生、勉強

講師 籠田文夫氏(産婦人科医・教養学部統合自然科学科学生)

日時 7月14日(金) 17:30~

会場 東京大学教養学部18号館ホール

※高校生以外もご参加いただけます。

#### ◎高校生のための東京大学オープンキャンパス2017

<http://www.u-tokyo.ac.jp/opendays/about.html>

日時 8月2日(水)・3日(木)  
10:00~17:00(予定)

会場 東京大学本郷地区キャンパス

対象者 高校生及び既卒生等(東京大学の受験を予定している方)

※要事前申込。詳細は上記URLよりガイドブックをご覧ください。

#### ◎第16回東京大学ホームカミングデー

<http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/alumni/interact/hcd/hcd2016/index.html>

**開催日** 10月21日(土)

※周年同窓会対象年は次の通りです。

◆卒業20周年学年会:1993年入学/97年卒業/97年院入学/99年医学部・農学部獣医学専攻卒業

◆卒業30周年学年会:1983年入学/87

年卒業/86年院入学/89年医学・農学部獣医学専攻卒業

◆卒業40周年学年会:1973年入学/77年卒業/77年院入学/79年医学部・農学部獣医学専攻卒業

## 名古屋大学

### 告知

◎ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～「ウニの受精・発生観察とその分子機構」  
<http://www.bio.nagoya-u.ac.jp/~SugashimaMBL/edu./ひらめき.html>

**開催日** 8月19日(土)

**対象** 中学生、高校生

※事前申込制。詳細は上記 URL をご覧ください。

◎国際開発研究科オープンキャンパス2017

<http://www.gsid.nagoya-u.ac.jp/global/index.html>

**日時** 7月8日(土) 13:00～

**会場** 名古屋大学大学院国際開発研究科棟8階オーデトリウム他

※詳細は上記 URL をご覧ください。

◎第141回招聘セミナー 第2回「アドミッション担当教職員支援セミナー」高大接続改革に何が欠けているのか

## 京都大学

### 告知

◎数理解析研究所第39回数学入門公開講座

[http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/social/events\\_news/department/suuri/events/2017/170803\\_1130.html](http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/social/events_news/department/suuri/events/2017/170803_1130.html)

[http://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/seminar/170721\\_arai/](http://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/seminar/170721_arai/)

**日時** 7月21日(金) 15:00～

**会場** 名古屋大学東山キャンパス文系総合館7階カンファレンスホール

※事前申込制。詳細は上記 URL をご覧ください。

◎ミクロの探検隊「名古屋大学のムシを電子顕微鏡で観察しよう！」

<http://www.num.nagoya-u.ac.jp/event/micro/2017/170805.html>

**講座1** 観察園のムシ 8月5日(土)

**講座2** 雑木林のムシ 8月19日(土)

**時間** どちらも10:00～

**参加費** 500円(保険料)雨天決行

※事前申込制。詳細は上記 URL をご覧ください。

◎第7回「企業と博士人材の交流会」

<http://www.aip.nagoya-u.ac.jp/graduate/career/kouryukai/detail/0003859.html>

**日時** 8月26日(土) 9:30～

**会場** 名古屋大学豊田講堂

※詳細は上記 URL をご覧ください。

**日時** 7月31日(月)～8月3日(木) 10:30～16:00(各日)

**会場** 京都大学吉田キャンパス数理解析研究所4階大講演室

**対象** 社会人、中学・高校教師、大学生等ある程度数学的素養のある一般の方

**定員** 120名(先着順)  
**参加費** 4,500円(テキスト代を含め全講義を通しての受講料(消費税含む))  
※詳細は左記 URL をご覧ください。

### ◎こころの未来研究センター創立10周年記念シンポジウム「こころの科学と未来社会」

[http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/events\\_news/department/kokoro/events/170730\\_1300.html](http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/events_news/department/kokoro/events/170730_1300.html)

**日時** 7月30日(日) 13:00~17:10  
**会場** 京都大学百周年時計台記念館  
百周年記念ホール

**対象** 研究者・学生・一般の方  
**定員** 500名(先着順)  
**参加費** 無料

※詳細は上記 URL をご覧ください。

### ◎第228回アフリカ地域研究会「アフリカにおける民主化の行方—モザンビークにおける政治暴力発生メカニズム—」

[http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/research/events\\_news/department/africa/events/2017/170720\\_1120.html](http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/research/events_news/department/africa/events/2017/170720_1120.html)

**日時** 7月20日(木) 15:00~17:00  
**会場** 稲盛財団記念館3階中会議室  
**対象** 一般の方

**定員** 50名(先着順)  
**参加費** 無料

※詳細は上記 URL をご覧ください。

### ◎瀬戸内海研究フォーラム in 京都「川と海のつながりが育む豊かな文化と生態系」

[http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/events\\_news/department/kankyogaku/events/2017/170515\\_1435.html](http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/events_news/department/kankyogaku/events/2017/170515_1435.html)

**日時** 9月6日(水) 12:30~17:40  
9月7日(木) 9:00~15:00  
**会場** 京都大学百周年時計台記念館2階  
国際交流ホールII、III  
**対象** 一般の方

**定員** 200名程度  
**参加費** 無料(懇親会の参加には、別途参加費が必要です。)  
※詳細は左記 URL をご覧ください。

## ◎ 報 告

◎産総研・京大エネルギー化学材料オープンイノベーションラボラトリ(ChEM-OIL)の開所式を行いました  
[http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/research/events\\_news/office/kenkyu-suishin/sankangaku-renkei/news/2017/170510\\_1.html](http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/research/events_news/office/kenkyu-suishin/sankangaku-renkei/news/2017/170510_1.html)

京都大学と国立研究開発法人産業技術総合研究所は、4月に「産総研・京大エネルギー化学材料オープンイノベーションラボラトリ(ChEM-OIL)」を、京都大学高等研究院に設置しました。

◎京都大学研究者の新刊書籍を紹介するWebサイト「京大新刊情報ポータル」を公開  
<http://pubs.research.kyoto-u.ac.jp/>

京都大学に所属する研究者の新刊書籍を紹介するWebサイト「京大新刊情報ポータル」を公開しました。

◎京都大学春秋講義(平成29年度春季講義)を開催しました  
[http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/social/events\\_news/office/soumu/shogai/news/2017/170510\\_1.html](http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/social/events_news/office/soumu/shogai/news/2017/170510_1.html)

メインテーマを「観光のまち京都」として3回講義を行いました。3日間で1,020名の参加がありました。

◎京都大学技術士会第8回講演会が開催されました  
[http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/social/events\\_news/office/soumu/shogai/news/2017/170419\\_1.html](http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/social/events_news/office/soumu/shogai/news/2017/170419_1.html)

東京都港区の機械振興会館で、京都大学技術士会が主催する第8回講演会が開催されました。関東地区に在住する会員

を中心に他大学関係者も含め 43 名の参加がありました。

◎日本電産株式会社の支援による寄附講座「優しい地球環境を実現する先端電気機器工学」の設立について発表しました

[http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/research/events\\_news/office/kenkyu-suishin/kenkyu-suishin/news/2017/170407\\_1.html](http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/research/events_news/office/kenkyu-suishin/kenkyu-suishin/news/2017/170407_1.html)

京都大学では、先端的電気機器研究開発を通して将来の地球環境の持続的成長を支えるとともに、当該分野に精通した若手人材を育成することを目的として、4月1日に、日本電産の支援による寄附講

座「優しい地球環境を実現する先端電気機器工学」を工学研究科電気工学専攻に設立しました。

本寄附講座では、基礎的かつ学際融合の見地から広範な学術分野の知見を取り入れつつ、持続可能な優しい地球環境を実現するための革新的な電気機器に関する技術研究開発に取り組みます。これらに関連する分野は多岐に亘っており、基礎科学から産業応用までの幅広い分野で、大きな寄与が期待でき、また、これらを通じて、大学院生の研究指導や次代を担う若手研究者の育成という点においても、大きな効果が期待できます。

## 大阪大学

### 告知

◎「大阪大学の集い」が名古屋で初開催されます

<http://www.osaka-u.ac.jp/ja>

日時 9月23日(土・祝)

15:00~(14:30受付開始予定)

会場 名鉄ニューグランドホテル7階

講師 森喜るみ子 森喜酒造場専務(阪大・薬・昭58卒)

演題 「女性と日本酒の美味しい関係」

参加費 4,000円。学生以下は割引あり。

※講演会終了後の交流会では、「るみ子の酒」の試飲があります。

◎大阪大学総合学術博物館第21回企画展「HANDAI ロボットの世界一形・動きからコミュニケーションそしてココロの創生へ」

<http://www.museum.osaka-u.ac.jp/>

会期 8月5日(土)まで

開館時間 10:30~17:00(入館は16:30まで) 日曜・祝日は休館

会場 大阪大学総合学術博物館待兼山修学館

参加費 無料

◎第3回阪大坂流しそうめん(＋竹取り@待兼山)

<http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/seminar/2017/07/7389>

日時 7月15日(日) 9:00~18:30

内容 9:00~16:00 竹の伐採から設置まで  
16:00~18:00 流しそうめん

会場 阪大坂

定員 100名

主催 大阪大学経済学部松村ゼミ

※事前申込制。詳細は上記 URL をご覧ください。

◎大阪大学交響楽団「第109回定期演奏会」

<http://handaiphil.s198.xrea.com/concert00.html>

日時 7月16日(日) 14:00~

会場 豊中市立文化芸術センター大ホール

参加費 1,000円(全席自由)



◎第12回大阪大学ホームカミング  
デイが開催されました

[http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/  
topics/2017/05/20170502\\_01](http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/topics/2017/05/20170502_01)

4月30日(日)、豊中キャンパスにて開催され、約520名の卒業生、在学生、保護者、教職員など「大阪大学ファミリー」が一堂に集まりました。

第1部では、まず、西尾章治郎大阪大学総長からの近況報告、熊谷信昭大阪大学同窓会連合会長(学生会理事)の挨拶、応援団による演舞が披露されました。続いて、「ええやん! 阪大生」と銘打って、さまざまな分野でがんばる阪大生・阪大卒業生らによるトークや漫才(「B国紳士」)、ミニコンサート(プロのアカペラグループ「INSPI」)等が繰り広げられました。

第2部の懇談会は、片岡和行池田泉州銀行会長(阪大・法・昭51卒)からの乾杯で始まり、ゲスト、参加者で歓談しました。

九州大学

◎公開講座「現代数学入門」2017

[http://ext-course.math.kyushu-u.ac.jp/  
Open-Lect/an\\_nei.html](http://ext-course.math.kyushu-u.ac.jp/Open-Lect/an_nei.html)

日 時 8月11日(金)～8月12日(土)  
10:00～15:30(両日)

会 場 九州大学西新プラザ大会議室

参加費 3,000円(高校生以下は1,500円)

◎【公開講座】災害を経験しましょう

[http://www.design.kyushu-u.ac.jp/  
kyushu-u/topics/detail?nid=1181](http://www.design.kyushu-u.ac.jp/kyushu-u/topics/detail?nid=1181)

日 時 9月2日(土) 13:00～16:00

会 場 九州大学大橋キャンパス

講 師 尾方義人九州大学大学院芸術工学  
研究院准教授ほか

参加費 5,400円

◎「Osaka University Global  
Alumni Fellow」の称号が授与  
されました

[http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/  
topics/2017/05/20170519\\_01](http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/topics/2017/05/20170519_01)

5月17日(水)、西尾章治郎大阪大学総長よりハノイ国家大学工科大学のNguyen Ngoc Binh 前学長へ、「Osaka University Global Alumni Fellow」の称号が授与されました。

Binh 前学長は、大阪大学基礎工学研究科博士後期課程を修められ、ベトナムでは研究の発展や学生教育に尽力される一方、ベトナム元日本留学生協会会長を務められるなど、長年にわたってベトナムと日本の留学生交流の橋渡しをされてきました。

これからもベトナムだけでなく、ASEAN 諸国と大阪大学の研究や学術交流の一層の推進と国際力強化に力添えをいただきたいと、西尾総長から期待の言葉がありました。

対 象 どなたでも参加いただけます。

定 員 40名(先着順)

※詳細は左記 URL をご覧ください。

◎【公開講座】一般市民のための「フ  
ィルム写真撮影と現像」講座

[http://www.design.kyushu-u.ac.jp/  
kyushu-u/topics/detail?nid=1177&cid=135](http://www.design.kyushu-u.ac.jp/kyushu-u/topics/detail?nid=1177&cid=135)

日 時 9月23日(土)～9月24日(日)  
10:30～16:30(両日)

会 場 九州大学大橋キャンパス

講 師 須長正治九州大学大学院芸術工学  
研究院准教授ほか

参加費 6,400円

対 象 どなたでも参加いただけます。

定 員 8名(先着順)

※詳細は上記 URL をご覧ください。

◎【公開講座】 高校生のための「フィルム写真撮影と現像」講座

<http://www.design.kyushu-u.ac.jp/kyushu-u/topics/detail?nid=1161>

日時 7月29日(土)、7月30日(日)  
10:30~16:30(両日)

会場 九州大学大橋キャンパス

講師 須長正治九州大学大学院芸術工学  
研究院准教授ほか

参加費 3,000円

対象 高校生

定員 8名(先着順)

※詳細は上記 URL をご覧ください。

◎【公開講座】 高校生のための環境設計公開講座

<http://www.design.kyushu-u.ac.jp/kyushu-u/topics/detail?nid=1165>

日時 8月5日(土) 14:00~17:00

会場 九州大学大橋キャンパス

講師 田上健一九州大学大学院芸術工学  
研究院教授ほか

参加費 1,000円

対象 高校生

定員 25名(先着順)

◎【公開講座】 高校生のための最先端メディアスタジオワークショップ

<http://www.design.kyushu-u.ac.jp/kyushu-u/topics/detail?nid=1196>

日時 8月26日(土)~8月27日(日)  
9:30~16:30(両日)

会場 九州大学大橋キャンパス

講師 牛尼剛聡九州大学大学院芸術工学  
研究院准教授ほか

参加費 3,000円

対象 高校生

定員 8名(先着順)

※詳細は左記 URL をご覧ください。

◎ 報告

◎平成 29 年度開学記念式典が挙行

<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/topics/view/1200>

九州大学は、5月11日を「九州大学記念日」とし、例年、開学記念行事が開催されています。本年も5月11日(木)に伊都キャンパスの椎木講堂で開学記念式典が挙行され、約180人の出席がありました。

久保千春九州大学総長から名誉教授へ称号記の授与、九州大学基金による代表的な支援助成事業である「山川賞」を受賞した学生3名の発表が行われました。

続く講演会では、林克彦九州大学大学院医学研究院教授から「幹細胞からの卵子再生」と題した講演がありました。

会場となった椎木講堂のギャラリーでは九州大学工学部百年の歴史にスポットを当てた「工学部の百年」展が行われ、記念式典終了後の懇談会では九州大学応援団による演舞が披露されました。

◎平成 29 年度春の叙勲

<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/topics/view/1201>

梶山千里元九州大学総長(学代会理事)が瑞宝大綬章を受章され、5月9日(火)に皇居・宮殿「松の間」で天皇陛下から勲章を授与されました。また、同じく春の叙勲において、笹月健彦九州大学特別主幹教授(学代会代議員)が瑞宝重光章を受章されました。

# 同窓会案内・開催報告

## 七大学同窓会共通

### 告知

#### ◎七大学若手会 BBQ 大会

<http://wakatekai.jp/>

【開催日】 7月22日(土)

【会場】 夢の島公園

※詳細は上記 URL をご覧ください。

### 報告

#### ◎巣鴨会「お花見」「JAXA 見学ツアー」が開催されました

旧七帝大若手交流会・巣鴨会で4月2日(日)、お花見が開催されました。当日は絶好のお花見日和に恵まれ、会場となった飛鳥山公園には76人の参加者が集いました。参加者の中には岡山、神戸など遠方から参加された方もいました。昼は春の陽気にほころんでいく桜のもと、ピザやお寿司、どら焼き、ケーキなどを片手に思い思いに談笑

し、夜は近くの公園の夜桜を鑑賞。みなで刻々と変わりゆく桜の表情を満喫しました。

続いて、5月20日(土)、つくば市のJAXA 見学ツアーを行いました。

宇宙飛行士養成エリアや「きぼう」運用管制室など普段見ることのできない施設を案内していただくたび、参加者の間で宇宙への関心が高まっていく様子が見られました。見学ツアーの終了後にロケット広場で記念撮影を行い、近くのレストランに移動して懇親会を開催。最後に10人前の巨大パフェが登場し、スケールの大きなイベントを締めくくりました。

次回は7月29日(土)、浦安市花火大会を観覧する予定です。巣鴨会へのお問い合わせや入会お申し込みは、久保真一さんまでお願いします。[kubo@wind.ocn.ne.jp](mailto:kubo@wind.ocn.ne.jp)

報告：久保真一さん(九大・法・平15卒)





## 北海道大学同窓会

### 報告

#### ◎北海道大学東京同窓会「ジンパ2017」が開催されました

<http://hokudai-tokyo-jinpa.com/>

5月20日(土)、北海道大学東京同窓会初夏の一大イベントであるジンギスカンパーティーが昭和記念公園バーベキューガーデンにて開催されました。

## 東北大学同窓会

### 告知

#### ◎東北大学110周年校友会関東交流会

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/alumni/kanto109/index.html>

【日時】 7月23日(日) 15:00~19:00

【会場】 東京ステーションコンファレンス

【講師】 花輪公雄東北大学理事・大学院理学研究科教授

【演題】 「地球温暖化と海洋一温暖化抑制の働きとその反動」

【講師】 鈴木岩弓東北大学高度教養教育・学生支援機構教養教育院総長特命教授

【演題】 「memento mori—現代日本人の死生観—」

【懇親会】 17:30~19:00

【参加費】 6,000円(高校生以下は無料)

※詳細は左記URLをご覧ください。

#### ◎外山啓介デビュー10周年記念ピアノ・リサイタルオールショパンプログラム

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/alumni/premium.html>

【日時】 8月6日(日) 15:00開演

【場所】 東北大学百周年記念会館川内萩ホール

※チケット詳細は上記URLをご覧ください。

## 東京大学同窓会

### 告知

#### ◎群馬银杏会総会・懇親会

【日時】 7月1日(土) 11:00~

【会場】 ホテルメトロポリタン高崎

#### ◎青森県東大同窓会総会・懇親会

【日時】 7月1日(土) 18:00~

【会場】 ホテル・ラプラス青森

### ◎徳島東大会総会・懇親会

【日時】 8月10日(木) 18:30～

【会場】 ホテルクレメント徳島

### ◎鳥取赤門会総会

【日時】 8月13日(日) 18:30～

【会場】 ホテルニューオータニ鳥取

### ◎埼玉銀杏会総会

<http://tokyo-uni-dousoukai-rengoukai.org>

【開催日】 9月16日(土) 14:20～

【会場】 浦和ワシントンホテル(クリムローズ)

【講演】 神野直彦日本社会事業大学長・  
東京大学名誉教授

### ◎東京銀杏会留学生と交流する会

<http://tokyo-uni-dousoukai-rengoukai.org>

【開催日】 7月15日(土)

【訪問先】 キリンビール工場見学

【問合先】 田中寿徳さん hisanori\_tanaka  
1125@fides.dti.ne.jp

### ◎神奈川銀杏会三火会

<http://tokyo-uni-dousoukai-rengoukai.org>

【日時】 7月18日(火) 7:00～

【会場】 横浜プラザホテル14階レストラン『ル・ファール』

【講師】 門井龍太郎氏(東・工・昭40卒)

【会費】 1,500円(朝食代)

【問合先】 浅沼さん tomo-asanuma@mqi.  
biglobe.ne.jp

### ◎関西東大会『夏の講演会』

<http://blog.kansaitodaikai.main.jp/?eid=1398578>

【日時】 8月27日(日) 14:30～

【会場】 ホテルグランヴィア大阪

【講師】 正岡子規研究所主宰 正岡明氏

【演題】 「坂の上の雲」の時代～子規・  
律・漱石・秋山兄弟～(仮題)」

【会費】 8,000円

【締切】 8月18日(金)

【申込先】 関西東大会事務局

Tel & FAX 06-6949-8820

[kansaitodaikai@iy.main.jp](mailto:kansaitodaikai@iy.main.jp)

## 報 告

### ◎県人会活動について

以下、3県の卒業生・教職員・学生による  
新入生歓迎会が開催されました。

・東京大学徳島県人会(在京)春季例会  
「新入生歓迎会」

6月3日(土) 駒場ファカルティ・ハウス

・鳥取県出身東大新入生歓迎会

6月10日(土) 駒場コミュニケーション・プラザ

・山口東大会・在京の会「新入生歓迎会」

6月11日(日) 表参道ビストロ・アン  
カフェ

### ◎赤門市長会第5回総会開催

6月6日(火)、都市センターホテルで開催  
されました。平成25年に設立された東京  
大学出身の市長による赤門市長会は、落  
選・引退による会員異動に対応し、元市長  
にも会員資格を与えることとしています。

### ◎東静銀杏会総会開催

6月18日(日)、沼津リバーサイドホテル  
で開催されました。

### ◎東京大学鎌倉淡青会総会開催

6月24日(土)、銀座アスター鎌倉寶館  
で開催され、濱田純一前東京大学総長の講  
演会がありました。

### ◎東京大学同窓会連合会20周年記念 大会開催

4月22日(土)、山上会館(東京大学本  
郷キャンパス)にて、各地の代表及び五神  
東京大学総長(第30代)を含む歴代総長6  
名の出席を得て、創立20周年式典が開催  
されました(小宮山元東京大学総長はビデオ  
参加)。

式典では、永年、各地域同窓会を現場で

支えてきた団体・役員・幹事の表彰式も行われ、また、シドニー大学より留学時に三鷹寮生であった歌姫、サラ・オレインさんが華を添えました。

平成9年に卒業生が自主的に集まり、東

京、関西など、6地域の同窓会で創立した東京大学同窓会連合会も、今日では全国47都道府県で同窓会が活動するまでに成長しました。



## 名古屋大学同窓会

### 告知

◎名古屋大学医学部学友会首都圏支部  
総会

<https://www.nual.nagoya-u.ac.jp/>

【日時】 7月8日(土) 16:00～

【会場】 学士会館

【参加費】 12,000円

【連絡先】 松田達男支部長

090-9206-0567

matudatatuo@gmail.com

◎名古屋男声合唱団  
Autumn Concert 2017

<http://nagoyadansei.main.jp/>

【日時】 9月30日(土) 14:00～

【会場】 名古屋大学豊田講堂

【参加費】 1,500円(全席自由)

◎関西名法会総会

<https://www.nual.nagoya-u.ac.jp/>

【日時】 9月30日(土) 11:00～

【会場】 中央電気倶楽部

## 京都大学同窓会

### 告知

◎第14回京都大学若手会年次総会

<http://kyoto.wakatekai.jp/>

【日時】 9月9日(土) 13:00～17:00

【会場】 未定

【講師】 宇野輝 SMBC コンサルティング  
元会長

※詳細は上記URLをご覧ください。

### 報告

◎「第5回京都大学同窓会東京支部  
連絡会議および第3回交流会」が  
開催されました

[http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/social/  
events\\_news/office/soumu/shogai/  
news/2017/170422\\_1.html](http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/social/events_news/office/soumu/shogai/news/2017/170422_1.html)

4月22日(土)、京都大学東京オフィス

において、第5回京都大学同窓会東京支部連絡会議および第3回交流会が開催され、全21支部中10支部を代表する22名の参

加がありました。京都大学からは、徳賀芳弘京都大学副学長が参加されました。

## 大阪大学同窓会

### 告知

#### ◎大阪大学箕面キャンパス「夏まつり」

<https://www.facebook.com/SAKUYAKAI>

【開催日】 7月1日(土)

【会場】 大阪大学箕面キャンパス

#### ◎阪大薬友会27期同窓会のご案内

<http://www.phs.osaka-u.ac.jp/homepage/yaku/alumni/alumni-index.html#20170422>

【日時】 9月10日(日) 13:00~

【会場】 大阪大学中之島センター9階交流サロン

【会費】 6,500円

【問合せ】 河合佐起子さん

090-2041-3691

[sakikokawai@yahoo.co.jp](mailto:sakikokawai@yahoo.co.jp)

### 報告

#### ◎大阪大学福井県同窓会第1回「特別講演会・会員交流会」

<https://www.facebook.com/handai.fukui.alumni/>

3月20日(月・祝)、福井市内のホテルで開かれ、100名を超える出席がありました。福井県出身で同会顧問の野路國夫(株)コマツ取締役会長から、「コマツのものづくりと地元農林業支援活動」と題した講演がありました。

交流会では女子会や構築会(土木・建築関係卒業生の集まり)など、小グループの発足もありました。

秋の第2回総会は11月23日(木・祝)に開催予定です。

## 九州大学同窓会

### 告知

#### ◎九州大学サッカー部博多OB会

[https://koyukai.kyushu-u.ac.jp/alumni/213/association\\_events/detail/333](https://koyukai.kyushu-u.ac.jp/alumni/213/association_events/detail/333)

【開催日】 7月8日(土)

【交流戦】 13:00~16:00

【会場】 九州大学伊都キャンパス  
多目的グラウンド

【懇親会】 18:30~

【会場】 八仙閣本店

【参加費】 10,000円~12,000円(OBと現役の参加人数により最終決定)

懇親ゴルフコンペ

【開催日】 7月9日(日) 7:30集合

【会場】 伊都ゴルフ倶楽部

【参加費】 15,000円(キャディ・税込)

【問合せ】 OB会事務局藤木さん

080-5283-9007

[fsnftfm@suo.bbiq.jp](mailto:fsnftfm@suo.bbiq.jp)

## 会員著作物紹介

### 『わが道、わが信条 有馬朗人の贈ることば』

東大総長・理化学研究所理事長を経て、文部大臣・科学技術庁長官を歴任、生涯現役として今なお東奔西走する日々……。

著書が贈る、科学技術・教育問題等現代日本が抱える課題への真摯なメッセージ。

(有馬朗人 会員 東大・理博・理・昭28)

わが道、わが信条 有馬朗人  
My Life, My Philosophy Arima Akito

有馬朗人の贈ることば

科学技術・  
教育問題等  
現代日本が  
抱える課題への  
真摯なメッセージ

物理学者として  
教育者として  
伊人として  
多彩な顔をもつ  
“努力家”の本懐。

春秋社  
定価 2000円＋税

春秋社

中央公論新社

### 『帝国大学——近代日本のエリート育成装置』

本書は、『學士會会報』に平成26年5月から本年1月まで3年近くに亘り連載された「七帝大物語」に加筆修正したものである。近代日本のエリート育成装置として誕生した「帝国大学」が、時代の要請と地域の事情に翻弄されながらも、今に続く国立総合大学に至る過程を、そしてなお存在感を有し続ける源泉を、広く深く、鮮やかに照射している。

2カ月に一度、読み進めてきた学士会会員諸氏にも、一気に通読できる本書を手にも、近代日本の学問の核心とも言える大学群の神髄を、再び、噛み締められんことをお勧めする。

(天野郁夫 会員 東大・教育博・教育・昭36)



### 『外交交渉回想—沖繩返還・福田ドクトリン・北方領土—』

私はソ連が崩壊してロシアが継承した時期にモスクワに大使として勤務した。その時代の回想をはじめ、沖繩返還、対ASEAN政策、フォークランド紛争など自身がかわった戦後外交交渉を振り返り、北方領土交渉や尖閣問題など、今なお続く外交問題についても提言を試みた。内容は平易で読みやすいよう心掛けたつもりである。

(枝村純郎 会員 京大・法・昭27中退・元駐ソ連・ロシア大使)



吉川弘文館出版



## 『故事成語で読み解く 中国経済』

中国経済なしでは世界経済を語るができない。そんな時代になった。恩師の経済学者、吉川洋の「需要」重視のアプローチと、日本経済の高度成長後に起きた数々の変化をモノサシに中国との比較をしながら、故事成語を片手に中国経済の現在を読み解いている。また中国経済の指標の説明も試みており、国が重視している指標にはどのようなものがあり市場で注目されている指標にはどのようなものがあるかといった解説もしている。

(李智雄 会員 東大・経・平 11)

日経 BP 社



KK ベストセラーズ



## 『意志を持ち始めるロボット 人類が創り出す衝撃的な未来』

ロボットはここ 30 年ほどで劇的に進歩し、オフィスへ、店舗へ、駅へ、そして家庭へ急速に進出していくであろう。ロボット「人口」は、人間の数を遙かに越え、社会を根底から劇的に変えてしまう——今はまさにロボット革命の前夜である。さらに将来的には、絶滅危惧種である人類はロボットと融合して新種の生物となり、宇宙に新しい文明圏を構築していく。その視点から、心を持つロボットと人間のかかわりを論じている。

(中谷一郎 会員 東大・工博・工修・工・昭 42)

## 『漢とは何か、中華とは何か』

筆者は NHK スペシャル「故宮～至宝の語る中華五千年」という歴史ドキュメンタリーを制作した。作家・司馬遼太郎は筆者に、「漢とは何か、中華とは何か」という問いかけを残して世を去った。辺境の草原にあった「塞外の民」、騎馬遊牧民族の存在を忘れるな、ということであった。本書は、多民族国家・中国に於ける漢族の内実、そして中華という概念の成立と継承、そして歪曲の過程を各時代の物語の展開のなかで明らかにしてゆく。

(後藤多聞 会員 京大・文修・文・昭 42)

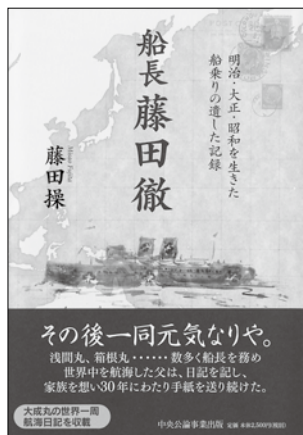
人文書館



## 『船長 藤田徹 明治・大正・昭和を生きた船乗りの遺した記録』

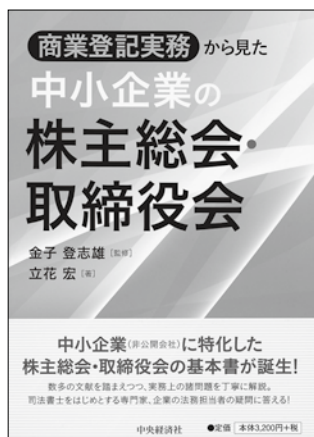
明治、大正、昭和を船乗りとして生き、太平洋戦争下、バシー海峡で最期を遂げた「船長 藤田 徹」の遺した記録を長男・操が取り纏め上梓した著作である。明治末期の帆船「大成丸」による初の世界一周航海、日本郵船入社後の第一次世界大戦時の欧州航路、世界各地の寄港地からの家族宛の手紙、第二次大戦下での航海、日米交換船「浅間丸」の記録そして戦没直前の遺筆など多彩な航海人生の一代記である。

(藤田操 会員 東大・法・昭17)



中央経済社

中央公論事業出版



## 『商業登記実務から見た中小企業の株主総会・取締役会』

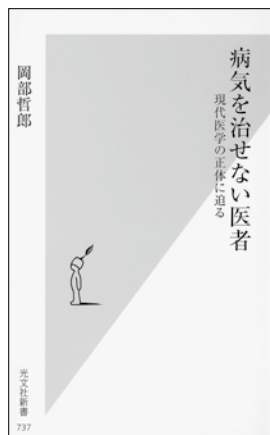
日本の会社のほとんどは中小企業であり、開催される株主総会や取締役会の多くは中小企業のものでした。しかし、実務書は大企業に主眼を置くものがほとんどでした。本書は、登記手続までを視野に入れ、中小企業の株主総会や取締役会の招集、運営、議事録等について事例を交えつつ解説し、実務上触れる機会が多い諸問題を丁寧に紐解くことを目的としています。また、随所で取締役会を設置していない会社についても言及しています。

(立花宏 会員 東北大・教育・平3)

## 『病気を治せない医者 現代医学の正体に迫る』

死ぬまで薬を飲み続けますか。西洋医学の限界に気づいていますか。西洋医学と中国伝統医学の双方に精通し、脊髄小脳変性症、てんかん、緑内障などの脳・神経疾患を含めて数々の難病治療法の研究開発を手がけてきた元東大医学部教授が二つの医学を比較。高血圧、高脂血症、癌検診、子宮頸がんワクチン、高齢者医療、うつ病診療などの現代医学が抱える問題を俎上に載せながら、患者にとってベストな医療の選択を提示。

(岡部哲郎 会員 東大・医・昭48)



光文社

『NU7』では、原稿を会員の皆様から募集しています。発行部数は5万部以上、会員以外の方にも広く配布しています。たくさんのご投稿をお待ちしています。

## 表紙写真

- ・写真のテーマは自由、2122ピクセル×2977ピクセル（350dpiの場合）以上のカラー・縦組み写真を希望しています（冊子サイズはA5判・天地210mm×左右148mm）。
- ・目次頁に、「氏名・卒業大学・学位・卒年」を掲載いたします。

## 会員通信

会員著作物紹介 （『NU7』・学士会館展示連動企画）	著作名・著作者・紹介文（200字以内）・著作物表紙写真をお送りください。
会員ギャラリー （『NU7』・学士会館展示連動企画）	絵画・生け花・陶器などの作品写真をお送りください（最大3点まで）。
会員活動報告	会員同士の交流やイベントの報告内容（200字以内）・写真（1～2点）をお送りください。
会員の声	テーマは自由、800字以内（写真掲載希望の場合、写真は1点・600字以内）にまとめて、お送りください。

## 同窓会「開催告知」及び「開催報告」

開催告知	同窓会名称・開催日・開催場所・連絡先（問い合わせ先）をお送りください。
開催報告	開催された会を報告する内容の文章を200字以内・写真（1～2点）をお送りください。

## 投稿にあたって

氏名・会員番号（又は、出身大学・学部・卒年）を明記の上、広報渉外課までメールにてお送りください。

送付先

**koho@gakushikai.or.jp**

- ※投稿の受信確認及び、掲載可否の連絡はいたしません。
- ※掲載作品・掲載時期は『NU7』編集委員会で決定します。選考に関する質問にはお答えできません。
- ※誌面の都合上、編集させていただく場合がございます。
- ※原稿（データを含む）は原則として返却いたしません。
- ※政治・宗教・団体や個人への毀誉褒貶に関わる投稿は受け付けできません。また、差別表現などは修正させていただく場合がございます。
- ※掲載作品の著作権は、本会に帰属します。
- ※お送りいただきました内容は、学士会交流サイト「謝恩の情」(<http://www.gakushikai-salon.jp>)にも掲載させていただきます。
- ※著作物・絵画等の展示詳細は、お問い合わせください。

告知

学士会主催



夕食会・午餐会 (2017年  
7月～9月)

【場所】学士会館

【参加費】4,000円(講演のみ2,000円)

◎夕食会 (18:00～食事/18:50～講演/19:50～質疑応答)

7月10日(月) 渡部 潤一氏 (国立天文台副台長)

「続々見つかる『第二の地球』候補—地球外生命発見への期待—」

1983年東京大学理学部卒業。1985年東京大学大学院理学系研究科修士課程修了。1988年理学博士(東京大学)。国立天文台助教授や広報室長、天文情報センター長を経て、2010年教授、2012年より現職。

8月は休会です。

9月8日(金) 河上 裕氏 (慶應義塾大学医学研究科委員長/日本がん免疫学会理事長)

「がん免疫療法～その効果と可能性」

1980年慶應義塾大学医学部卒業。慶應義塾大学医学部血液感染リウマチ内科、米国南フロリダ大学微生物免疫学教室、米国NIH国立がん研究所外科などを経て、1997年慶應義塾大学医学部先端医科学研究所教授。2005年同研究所所長。2015年より現職。

◎午餐会 (12:30～食事/13:20～講演/14:20～質疑応答)

7月20日(木) 小松 浩氏 (毎日新聞社主筆)

「トランプ政権半年総括」

1973年早稲田大学政治経済学部中退後、毎日新聞社入社。政治部、ワシントン支局、欧州総局長兼ロンドン支局長、政治部長、編集局次長、論説副委員長を経て、2013年論説委員長。2016年より現職。

8月は休会です。

9月20日(水) 宮廻 正明氏 (東京藝術大学大学院教授・学長特命・社会連携センター長)

「クローン文化財～法隆寺金堂壁画・釈迦三尊像の再現」

1979年東京藝術大学美術学部卒業。1981年東京藝術大学大学院美術研究科修士課程修了。平山郁夫氏に師事。東京藝術大学大学院美術研究科助教授、教授を経て、2009年東京藝術大学社会連携センター長。2016年東京藝術大学学長特命(産学連携担当)。

詳細は、学士会公式サイトまたは事業課まで。

TEL:03-3292-5955(平日9:00～17:00) MAIL:koenkai-info@gakushikai.or.jp

告知



## 『學士會會報』925号(2017年7月発行)のご案内

2017年7月1日発行の『學士會會報』925号は、下記の内容を掲載しています。

※編集の都合により、内容が変更になる場合があります。

### ■講演録■

「地球と共存する経営」(2017年2月夕食会)

小林 喜光氏(株式会社三菱ケミカルホールディングス取締役会長)

「中央銀行という存在」(2017年2月午餐会)

白川 方明氏(青山学院大学特任教授/前日本銀行総裁)

「ゆがめられた関西像」(2017年3月午餐会)

井上 章一氏(国際日本文化研究センター教授)

「人工知能最前線一人間はAIとどう付き合っていくかー」(2017年3月夕食会)

松原 仁氏(公立はこだて未来大学副理事長/前人工知能学会会長)

### ■連載■

「遺跡を尋ねて」 <第4回> 松木 武彦氏(国立歴史民俗博物館教授)

告知

学生会主催



「ウェルカム ビアパーティー」18:00~20:00 [場所]学生会館

2017年7月29日(土)



今春七大学をご卒業・ご修了され、学生会に入会された方をご招待し、45歳以下の若手会員と一緒に交流するパーティーです。新卒新入会の皆様、どうぞご予約ください。

詳細は、学生会公式サイトまたは会員支援課まで。

TEL: 03-3292-5932 (平日9:00~17:00)

MAIL: contact@gakushikai.or.jp

告知

学生会主催



第14回女性会 9:45~10:45 レッスン [場所]花山幸子フラ教室(目黒)  
11:30~ ランチ(希望制) [参加費]3,500円※ランチ代別途

2017年8月5日(土)「ハワイの伝統舞踊でリフレッシュ!フラ体験教室」

フラ(=hula)とは“踊り”“演奏”“歌”などの総称です。今回は、踊りをメインに、フラの成り立ちからベーシックステップ・ハンドモーションなどの動きを学び、最後に一曲(1分程度)、音楽に合わせて皆で踊ります。

今年の夏は、フラで身体&脳を鍛えてみませんか?

詳細は、学生会公式サイトまたは広報渉外課まで。

TEL:03-3292-5950 (平日9:00~17:00)

MAIL:woman@gakushikai.or.jp

告知 学士会主催



## 「東京大学附属牧場見学ツアー」

13:00  
～15:30

[場 所] 東京大学附属牧場  
[参加費] 14,000 円 (※)

2017年9月9日(土)

茨城県笠間市にある東大附属牧場にて、牧場見学ツアーを開催します。牛乳の試飲や、乗馬体験、ヤギなど動物との触れ合いをお楽しみください。

※中学生以下の参加費は、2,000 円です。

8月1日(火)より申込受付を開始します。

詳細は、学士会公式サイトまたは事業課まで。

T E L:03-3292-5955 (平日9:00～17:00)

MAIL:jigyou@gakushikai.or.jp



告知 学士会主催



## 読書会

13:00～(8月は14:30～)

[場 所] 学士会館  
[参加費] 500 円 (※)

2017年7月30日(日) / 8月26日(土) / 9月30日(土)

指定された「課題本」を事前に読み、当日、感想や意見を語り合う会です。普段読むことのない本を読み、自分と違う意見を聞くことで、自分の“引き出し”が増えるはず！

※課題本は各自ご用意いただきます。

詳細は、学士会公式サイトまたは会員支援課まで。

皆で語り合いたい課題本を募集中心！

T E L:03-3292-5932 (平日9:00～17:00)

MAIL:contact@gakushikai.or.jp



告知 学士会主催



## 土曜(日曜)カフェ

15:15～(8月は12:00～)

[場 所] 学士会館  
[参加費] 1,000 円

2017年7月30日(日) / 8月26日(土) / 9月30日(土)



毎月最終土曜日(日曜日)に42歳までの会員を対象に、少人数での“カタリバ”土曜(日曜)カフェを開催中です。8月は「土曜ランチ」の日です。

詳細は、学士会公式サイトまたは会員支援課まで。  
話し合いたいテーマも大募集中！

T E L:03-3292-5932 (平日9:00～17:00)

MAIL:contact@gakushikai.or.jp

報告 学士会主催



## 「第28回関西茶話会」開催報告

[場 所] 京都大学学友会館

2017年4月22日(土) 佐々木 正子氏 (嵯峨美術大学特任教授)

### 「日本絵画を読み解く」

NHK「日曜美術館」の解説でお馴染みの佐々木正子先生に、巷で知られていない目から鱗の日本絵画の見方について、お話いただきました。日本絵画の奥深さに、参加者は舌を巻いていました。

講演録は、11月1日発行の『NU7』No.14 に掲載予定です。



報告 学士会主催



## 「第13回女性会」開催報告

[場 所] 学士会館

2017年5月20日(土) 13:00～16:00 (ティータイム含む)

### 「メイクセラピー講座」

自分のなりたい“顔”・目指す“印象”についてヒアリング後、どうすればそれに近づけるのか、参加者手持ちのメイク道具を使用して、個別に講師がメイクを施しながら指導を受けました。



講師の川邊翔子氏



顔の左側は講師がメイク



右側は自分で練習

報告 学士会主催



## 「間伐皮むき親子体験 in 高尾の森」開催報告 [場 所] 高尾の森

2017年5月28日(日) 11:00～15:30

木の皮を下から上にむくことで、木を切らずに立ち枯らせるといいう間伐体験イベントを八王子市の高尾の森で開催、約30名の参加がありました。

深緑の眩しい森に響く子どもたちの歓声は、すがすがしく心地よいものでした。

皮むきの様子



## 『会員氏名録』発行のお知らせ



本年11月、3年ぶりとなる『会員氏名録』発行いたします。氏名録は学士会会員のみ、おひとり一冊の完全予約限定頒布（頒布価格3,000円/税・送料込）です。皆様のご予約をお待ちしております。

### 型・表紙

B5判 うすずみ色 文字黒箔押し

### 総ページ

約1,000頁（登載会員数約47,000名）

### 掲載内容

氏名（旧姓名）、称号、大学、卒年、学科、勤務先・職名、郵便番号、住所、電話番号、E-mail、在外会員、改姓・改名表、定款、会費規定、大学・称号別会員数、卒業年別会員数

詳細は、学士会公式サイトまたは会員企画課まで。

TEL:03-3292-5933（平日9:00～17:00）

MAIL:member@gakushikai.or.jp

## 『學士會会報』目次検索データベースを公開しました



創刊号～最新号までの『學士會会報』（學士會月報・學士會会報）に掲載された論考・寄稿文の、著者名・標題などが検索出来るようになりました（本文は、まだ公開していません）。

検索して、ご覧になりたい内容がございましたら、下記までご連絡ください。在庫がある号（2010年1月発行880号以降）に関しては、有料頒布が可能です。

詳細は、学士会公式サイトまたは会報課まで。

TEL:03-3292-5930（平日9:00～17:00）

MAIL:kaihou@gakushikai.or.jp

## 会員作品（書籍・絵画等）募集中！



『NU7』への会員作品（書籍・絵画等）掲載とあわせて、学士会館で展示する会員作品を募集しております。

### ◎書籍

学士会館1階談話室の書棚へ展示します。展示期間は1カ月です。

### ◎絵画・写真

学士会館1階七大学展示コーナー「学士会ブース」に展示します。展示期間は1カ月です。

詳細は、学士会公式サイトまたは広報渉外課まで。

TEL:03-3292-5950（平日9:00～17:00）

MAIL:koho@gakushikai.or.jp





～学会会員限定「ハッピーアワー」実施中～

## 「学会館ビアホール」スタート！

2017年7月3日(月)～8月31日(木) 17:00～21:30(※)



今年の“スペシャル”はサーロインステーキ(毎日)とローストビーフ(7/3～7/7・毎週月)の食べ放題！大人気だった和洋中の賄い料理も復活します。

その他、お客様参加イベント「盛り付けコンテスト」も開催予定です。

※写真はイメージです。



詳細は、学会館公式サイトまたは担当まで。

TEL:03-3292-5936

URL:<http://www.gakushikaikan.co.jp/>

※土日祝・8/14～8/16はお休みです。



学会館主催

## 第3回「世界遺産和食と

## 日本酒のペアリングを楽しむ会」

[場 所] 旬菜寿司割烹「二色」

[参加費] 8,000円(一般10,000円)

2017年7月20日(木) 18:30～(受付18:00)

今年からスタートした新企画、「世界遺産和食と日本酒のペアリングを楽しむ会」も第3回目を迎えます。

今回のお酒は、万延元年(1860年)創業、“辛口にして甘露”な伝統の広島酒「酔心(すいしん)」です。まろやかな味わいの日本酒と「二色」自慢の和食のペアリングを心ゆくまでお楽しみください。

詳細は、学会館公式サイトまたは「二色」まで。

TEL:03-3292-3960

URL:<http://www.gakushikaikan.co.jp/>



※写真はイメージです。



## ロケ・ニュース (2015年4月・5月)

学会館でロケが行われ、4月・5月に放映された内容を抜粋してお知らせします。

◎WOWOW 連続ドラマ W「社長室の冬」 / 4月21日(日)・28日(日)  
5月14日(日) 22:00～

[ロケ場所] 301号室、302号室、320号室

◎光文社刊『STORY』6月号(4月28日(金)発売)

[ロケ場所] 320号室



# 七大学書籍ランキング

# BEST 5

期間：2017年5月1日～2017年5月31日

## 北海道大学生協 書籍部 Clark

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 地方消滅	増田寛也	中央公論新社
	2 帝国大学	天野郁夫	中央公論新社
	3 まっぶたつの子爵	イタロ・カルヴィーノ	岩波書店
	4 ミクロ経済学入門の入門	坂井豊貴	岩波書店
	5 スノーデン日本への警告	エドワード・スノーデン	集英社
一般書	1 新北海道の花	梅沢俊	北海道大学出版会
	2 ミシュランガイド北海道特別版 2017	日本ミシュランタイヤ (編)	日本ミシュランタイヤ
	3 勉強の哲学	千葉雅也	文藝春秋
	4 みみずくは黄昏に飛びたつ	川上未映子・村上春樹	新潮社
	5 蜜蜂と遠雷	恩田陸	幻冬舎

## 東北大学生協 書籍部 文系店

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 バウドリーノ 上	ウンベルト・エーコ	岩波書店
	2 ロシア革命	池田嘉朗	岩波書店
	3 物語 オランダの歴史	桜田美津夫	中央公論新社
	4 バウドリーノ 下	ウンベルト・エーコ	岩波書店
	5 恋文の技術	森見登美彦	ポプラ社
一般書	1 世界史 いまここから	小田中直樹／帆刈浩之	山川出版
	2 地場産業産地の革新	上野和彦	古今書院
	3 騎士团长殺し 第1部	村上春樹	新潮社
	4 人出不足のになぜ賃金が上がらないのか	玄田有史	慶應義塾大学出版会
	5 不道德な見えざる手	ジョージ・A・アカロフ／ロバート・J・シラー	東洋経済新報社

## 東京大学生協 本郷書籍部

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 日本の近代とは何であったか	三谷太郎	岩波書店
	2 データ分析の力 因果関係に迫る思考法	伊藤公一郎	光文社
	3 君の臍臓をたべたい	住野よる	双葉社
	4 東大留学生ディオンが見たニッポン	ディオン・ン・ジェ・ティン	岩波書店
	5 帝国大学	天野郁夫	中央公論新社
一般書	1 ゼロから作る Deep Learning	斎藤康毅	オライリー・ジャパン
	2 変革を駆動する大学	五神真	東京大学出版会
	3 現職人事が書いた「面接試験・官庁訪問」の本 2018年度版	大賀英徳	実務教育出版
	4 博士になったらどう生きる？	栗田佳代子 (監修) / 吉田壘・堀内多恵 (編)	勉誠出版
	5 勉強の哲学	千葉雅也	文藝春秋

## 名古屋大学生協 書籍部 BOOKS フロンテ

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 君の膵臓を食べたい	住野よる	双葉社
	2 理科系の作文技術	木下是雄	中央公論新社
	3 三つの石で地球がわかる	藤岡煥太郎	講談社
	4 虚ろな十字架	東野圭吾	光文社
	5 リバース	湊かなえ	講談社
一般書	1 公式 TOEIC® Listening & Reading 問題集 2	Educational Testing Service	国際ビジネスコミュニケーション協会
	2 ゼロから作る Deep Learning	斎藤康毅	オライリー・ジャパン
	3 実践力を身につける Python の教科書	クジラ飛行機	マイナビ出版
	4 入門 Python 3	ビル・ルバノビック	オライリー・ジャパン
	5 サビエンス全史 下	ユヴァル・ノア・ハラリ	河出書房新社

## 京都大学生協 BOOK センタールネ

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 君の膵臓をたべたい	住野よる	双葉社
	2 夜は短し歩けよ乙女	森見登美彦	KADOKAWA
	3 有頂天家族 二代目の帰朝	森見登美彦	幻冬舎
	4 四畳半神話大系	森見登美彦	KADOKAWA
	5 データ分析の力 因果関係に迫る思考法	伊藤公一朗	光文社
一般書	1 東大生が書いた 問題を解く力を鍛えるケース問題ノート	東大ケーススタディ研究会	東洋経済新報社
	2 TOEIC® L & R TEST 出る単特急 金のフレーズ	TEX 加藤	朝日新聞出版
	3 現役東大生が書いた 地頭を鍛えるフェルミ推定ノート	東大ケーススタディ研究会	東洋経済新報社
	4 東大生が書いた 議論する力を鍛えるディスカッションノート	吉田雅裕	東洋経済新報社
	5 ゼロから作る Deep Learning	斎藤康毅	オライリー・ジャパン

## 大阪大学生協 書籍部 豊中店

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 君の膵臓をたべたい	住野よる	双葉社
	2 データ分析の力 因果関係に迫る思考法	伊藤公一朗	光文社
	3 スペードの3	朝井リョウ	講談社
	4 虚ろな十字架	東野圭吾	光文社
	5 夜は短し歩けよ乙女	森見登美彦	角川書店
一般書	1 蜜蜂と遠雷	恩田陸	幻冬舎
	2 劇場	又吉直樹	新潮社
	3 勉強の哲学	千葉雅也	文藝春秋
	4 いのちの車窓から	星野源	KADOKAWA
	5 コンビニ人間	村田沙耶香	文藝春秋

## 九州大学生協 文系購買書店

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 自民党	中北浩爾	中央公論新社
	2 帝国大学	天野郁夫	中央公論新社
	3 戦争の日本古代史	倉本一宏	講談社
	4 君の膵臓を食べたい	住野よる	双葉社
	5 保育園問題	前田正子	中央公論新社
一般書	1 共謀罪の何が問題か	高山佳奈子	岩波書店
	2 勉強の哲学	千葉雅也	文藝春秋
	3 憲法判例の射程	横大道聡	弘文堂
	4 違憲審査	千葉勝美	有斐閣
	5 帝国日本の外交 1894-1922	佐々木雄一	東京大学出版会

今から20年以上も前、当時の総理大臣、細川護熙氏がテレビでインタビューに答えていた。細川家の「お宝」の話をしていたように思う。「よいものはほとんど先の戦争でなくなってしまって」「第二次世界大戦ですね」「いいえ、応仁の乱です」。北海道から東京へ越してきて10年ほど経った私だが、教科書に書かれている歴史上の事件が本州の人にとっては自分のことなのだと思ったことを覚えている。細川元総理の祖父である近衛文麿にも同じような逸話が残っているのだから、代々伝わるジョークかもしれない。『NU7』No. 11の七大学書籍ランキング文庫・新書部門では京都大学と大阪大学で『応仁の乱』が1位であった。室町時代を扱った本としては30万部を超える異例の大ヒットだそうだ。そう言えば、何のために戦っているのか誰にもわからない状況になってしまった応仁の乱と今世界各国で長引いている紛争は似ているかもしれない。(編集委員：佐藤千恵子)

2017年1月午餐会で里見進東北大学総長(国立大学協会会長)が「国立大学の今とこれから」と題した講演を行った。その講演録が『學士會会報』924号(2017-Ⅲ)に掲載された。遠方に住み、講演会に参加できなくても、会報に講演録が掲載されると、その雰囲気か味わえる。日本の大学はTHEなどの世界大学ランキングから年々順位を下げているので心配していたが、里見先生のお話には各大学が画期的な改革に取り組んでいる事例が紹介されていた。グローバル化をめざしたTGLプログラム、国際通用性を高めるGPA制度の導入、異分野融合のFRISの創設、大学発ベンチャーの増設、民間出資によるオープンラボの設置、企業とのR&D連携強化、特許件数の増加、財務基盤強化の為の大学基金の創設など、社会が求める職業や能力が変化する中、大学も進化して時代の要請に応えた体制が構築されていく。日本の大学も面白くなりそうだ。もう一度、入学したくなった。(編集委員：田村恵美子)

6月から(一部は5月から?)クールビズを励行されている企業も多いと思います。実は私は最近パーカーやTシャツなど、かなりラフな格好を意図的にしており、スーツは減多に着ません。スーツ自体窮屈で好きでもないのですが、何故こんな文化があるのか少し疑問です。制服好きな文化でしょうか。スーツを着ない理由ですが、実際、スーツを着ていると営業的な感じで見られることが多いと思うのです。ですが、パーカーや作業着などを着ていると「技術者」というような印象を持ってもらえることで、少し違った目線で見られることに気づいたのです。ある種リスpektと  
いうか、この人は違う感じ、というだけで十分意味があります。若手がやるとなかなか厳しいものがありますが、代表取締役などの肩書を持った上でやると結構効果があると思いますので、皆様オススメです。まあ銀行なんかパーカーで行くのは若干勇気が要りますが、慣れます。

(編集委員：吉積礼敏)

## NU7 第12号

2017年 7月1日 発行

編集兼  
発行人

大垣 眞一郎

発行元

一般社団法人学士会

〒101-8459 東京都千代田区神田錦町3-28

TEL: 03-3292-5950

FAX: 03-3292-2779

homepage: <http://www.gakushikai.or.jp/>

e-mail: [koho@gakushikai.or.jp](mailto:koho@gakushikai.or.jp)

印刷所

大日本法令印刷

# 学士会の活動・サービス一覧

## 七大学への支援・連携

- ・「全国七大学総合体育大会（七大戦）」への特別協賛（協賛金、優勝トロフィー）
- ・七大学との情報交換、メールマガジンの相互乗り入れ
- ・七大学とのイベント共催 ・ホームカミングデーへ参加 ・七大学支部連絡室の提供

## 七大学関連団体との連携

- ・全学同窓会とのイベント共催及びお互いの主催イベントへの相互協力
- ・七大学の同窓会との情報交換、メールマガジンの相互乗り入れ
- ・七大学OB合同イベントへの協力（「七大学OB野球大会」への支援など）
- ・学生会館における全学同窓会会合への支援や、若手同窓団体講演会への共催や支援

## 会員活動に対する支援

- ・同好会活動への支援（撞球、囲碁、将棋、俳句、漢詩、短歌、落語）
- ・学生会館の会員倶楽部室（撞球、囲碁、将棋、会員会議室）の利用
- ・学生会館の談話室、読書室の利用（いずれも Wi-Fi 利用可）

## 会員向け活動・サービス

- ・『學士會会報』『NU7』『会員氏名録』の発行
- ・「夕食会」「午餐会」「若手交流会」「関西茶話会」「新春講演会」「地域講演会」などの講演会開催、「新年祝賀会」「クリスマス家族会」などのイベント開催
- ・メールマガジンの配信（登録者向けに毎月1日発行 / 読者プレゼントあり）
- ・学生会館専用サイト「交流サロン・謝恩の情」の利用（NU7+・同好会だよりの閲覧）
- ・鑑賞ツアー（観劇、コンサートなどの割引チケット提供およびプログラム提供や見学などの特典）
- ・引っ越しや葬祭時の割引特典（クロネコヤマト・アート引越センター / セレモア）
- ・スポーツクラブの割引利用（ルネサンス・ドゥミルネサンス）
- ・住宅に関する総合案内「住まいサポート」（パナホーム・住友林業）
- ・（終身会員のみ）夕食会・午餐会参加時のソフトドリンク1杯無料サービス
- ・事典・辞書のデータベース「ジャパンナレッジ」の割引利用
- ・東京国立近代美術館の割引利用
- ・「しがくのやど」（日本私立学校振興・共催事業団運営の会館・宿泊施設）の割引利用
- ・生涯メールアドレスの提供（希望者のみ）
- ・会員作品（書籍・絵画等）の展示（学生会館）

## 学生会館事業

- ・婚礼プラン利用の際、お祝い金(5万円)贈呈 ・「良縁倶楽部」への入会・活用
- ・宿泊および集宴会を会員価格にて利用（終身会員は会員価格から10%割引）
- ・慶祝プラン（金の食器使用）利用の会員グループに食事券(5,000円)贈呈
- ・レストランでのランチ（平日13時以降来店に限る・セブンスハウス除く）・ディナー飲食料、同伴者を含め10名迄10%割引〔終身会員本人は、ランチ全時間帯10%割引〕※入店時に会員証を提示
- ・レストランの個室料無料 ※入店時に会員証を提示

# 学士会準会員制度と入会までの流れ

入会資格はあるけれども、学士会への入会までは・・・と迷われている方へ朗報です。学士会は、入会までのステップの一つとして、「準会員制度」（無料登録）を設けました。

## ◀ 準会員登録でできること ▶

- 学士会・学士会館メールマガジン及び学士会イベント案内の受信
- コミュニティサイト「学士会会員交流サロン・謝恩の情」の閲覧（『Web マガジン・NU7+』の閲覧を含む）
- 『NU7』『Web マガジン・NU7+』での同窓会活動紹介
- 提携先の外部業者によるサービスの優待利用
- 準会員を対象にした学士会及び学士会館事業（良縁倶楽部等）への参加

登録はこちら



準会員から正会員へはいつでも変更可能です。まずはじっくりと学士会についてご理解いただき、そして、正会員としてご入会ください。

## >>> 入会までの流れ >>>



おかえりなさい。アットホームでくつろぎの空間へ。

# GAKUSHIKAN BEER HALL

学士会館 ビアホール

90分

食べ放題&飲み放題

5,000円(税込)

## SPECIAL MENU

### Sirloin Steak

サーロインステーキ

☆毎日、  
鉄板焼きステーキが食べ放題!



&

ダブル肉フェスタ

### Roast Beef

ローストビーフ

☆7/3(月)~7/7(金)と  
毎週月曜日に  
ローストビーフが食べ放題!



☆伝統の西洋料理の数々!



☆大地の恵み、新鮮野菜!

☆中国料理と日本料理の共演! ☆デザートも見逃せません!

※写真は全てイメージです。

2017 7.3 (Mon) → 8.31 (Thu)

17:00-21:30 (最終受付20:00)

※期間中は混み合う場合がございますので、お早めにご予約ください。

※8/14~8/16・土日祝はお休みです。

盛り付けコンクールを開催いたします! 開催日時等の詳細はHPまで。

プレミアムビールが飲み放題!

ワイン・ウイスキー・カクテル・サワーなどもお好みで!

### 学士会会員限定 「ハッピーアワー」

◇17:00~18:30 (17:00開始に限る)

学士会会員特別価格 4,000円(税込)  
同伴の方も全員が特別価格となります。

※開始時間が遅れましても、18:30終了と  
なりますのでご了承ください。  
※詳細はお問い合わせください。

学士会館

ご予約・  
お問い合わせ

TEL 03-3292-5936

〒101-8459 東京都千代田区神田錦町3-28  
<http://www.gakushikaikan.co.jp/>

# 学会の紹介

学会は、国立七大学（北大・東北大・東大・名大・京大・阪大・九大）の卒業生・学生・教員約5万人からなる総合同窓団体です。

学会の発端は、明治19（1886）年に開かれた東大初代総理・加藤弘之先生の謝恩会。130年以上の歴史を持つ学会は、現在、七大戦特別協賛をはじめとした七大学への支援や、七大学同窓団体との連携、会員向けに様々なサービスを展開しています。



## 会員資格

七大学の卒業生（学士・修士・博士）

七大学の教職員（教授・准教授・助教など）

七大学の学生

※詳細は、学会公式サイト「情報公開」の定款をご覧ください。  
※学生は、学生会員への登録になります。登録料は無料です。

## 会費

入会金なし、年会費4,000円

※学部卒業後2年間は3,000円（学会事業年度は4月1日～翌3月31日）  
※会費一括納入の終身会員制度もございます。お問い合わせください。

## 主な会員サービス

最新情報をお届けする学会メールマガジンは、どなたでもご覧いただけます。公式サイトよりご登録ください。



## 『学会会報』の発行

明治20（1887）年より今まで続いている『学会会報』は、年6回奇数月に発行、ご指定の住所にお届けしています。

925号（2017年7月発行）は、白川方明氏（2017年2月午餐会講師）の講演録を掲載しています。



## 企業と連携したサービス

オペラや観劇などのチケット割引サービス「鑑賞ツアー」（オプション付き）や、スポーツクラブなどの割引サービス等を行っています。

「しがくのやど」（宿泊・保養所）の割引利用や、インターネット辞書検索サイト「ジャパンナレッジ」の割引利用も大人気です！



## 講演会やイベントの開催

「夕食会」「午餐会」「関西茶話会」「地域講演会」「若手交流会」「女性会」など地域・年齢を考慮した講演会・イベントを開催しています。

東大附属牧場見学ツアーを開催します。動物たちとの触れ合い・乗馬体験をお楽しみください！



## 「学会会館」の運営



集宴会や婚礼、宿泊には会員優待のある「学会会館」（東京都千代田区）をご利用ください。

会員限定「ハッピーアワー」は、今年も登場！学会会館夏の風物詩、「ピアホール」は7月3日（月）から開催です。

入会をご希望の方は、学会公式サイトからお手続きください。

<http://www.gakushikai.or.jp/>

一般社団法人 学会



入会に関するお問い合わせは会員企画課まで /03-3292-5933（平日9時～17時）

